astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００４－１２)

２　級

文字・語彙

(100点　35分)

注　　意

1.　試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。

2.　この問題用紙を持ち帰ることはできません。

3.　受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。

4.　この問題用紙は、全部で8ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

文字・語彙の第44問は取消問題で、採点対象外です。　　原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文の下線をつけたことばは、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　へやの隅(1)に置いて(2)ある机(3)にペンキを塗って(4)ください。

(1) 隅	1	うら	2	かど	3	すみ	4	はし
(2) 置いて	1	おいて	2	はいて	3	ひいて	4	ふいて
(3) 机	1	いす	2	たな	3	つくえ	4	はこ
(4) 塗って	1	とって	2	ぬって	3	はって	4	ほって

問 2　この国の対日貿易(1)の割合(2)は全体の20%を占める(3)。

(1) 貿易	1	ぼうい	2	ぼうえき	3	りゅうい	4	りゅうえき
(2) 割合	1	かつあい	2	かつごう	3	わりあい	4	わりごう
(3) 占める	1	うめる	2	しめる	3	つめる	4	はめる

問 3　その小さなミスが悲劇(1)を招く(2)原因(3)となった。

(1) 悲劇	1	きげき	2	こうげき	3	しょうげき	4	ひげき
(2) 招く	1	いだく	2	のぞく	3	はぶく	4	まねく
(3) 原因	1	けにん	2	げにん	3	けんいん	4	げんいん

問 4　ロケット発射(1)のための作業(2)はほぼ完了(3)した。

(1) 発射	1	はつしゃ	2	はっしゃ	3	ほつしゃ	4	ほっしゃ
(2) 作業	1	さぎょ	2	さぎょう	3	さくぎょ	4	さくぎょう
(3) 完了	1	かんり	2	かんりょう	3	しゅうり	4	しゅうりょう

問 5　この混乱(1)した状況(2)を部分的(3)にでも改善(4)したい。

(1) 混乱	1	こうなん	2	こうらん	3	こんなん	4	こんらん
(2) 状況	1	じょうきょう	2	じゅけい	3	じょきょう	4	じょけい
(3) 部分的	1	ぶふんてき	2	ぶぶんてき	3	ぶんぶてき	4	ぶんぶてき
(4) 改善	1	かいせん	2	かいぜん	3	こうせん	4	こうぜん

問 6　この国の平均(1)寿命(2)は1985年(ねん)から17年連続(3)してのびている。

(1) 平均	1	びょうきん	2	びょうどう	3	へいきん	4	へいどう
(2) 寿命	1	じゅみょう	2	じゅめい	3	じゅりょう	4	じゅれい
(3) 連続	1	れいそく	2	れいぞく	3	れんそく	4	れんぞく

問題 II　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　「地球かんきょう(1)をまもろう(2)」というテーマのポスターをぼしゅう(3)した。

(1) かんきょう	1	還境	2	環境	3	還鏡	4	還鏡
(2) まもろう	1	守ろう	2	治ろう	3	保ろう	4	補ろう
(3) ぼしゅう	1	募収	2	幕収	3	募集	4	幕集

問 2　日がしずんだら(1)、星のかんそく(2)をしよう。

(1) しずんだら	1	沈んだら	2	消んだら	3	傾んだら	4	滅んだら
(2) かんそく	1	勧側	2	勧測	3	観側	4	観測

問 3　ここはおいこし(1)きんし(2)のくいき(3)です。

(1) おいこし	1	追い越し	2	追い超し	3	遣い越し	4	遣い越し
(2) きんし	1	防止	2	阻止	3	停止	4	禁止
(3) くいき	1	区或	2	区咸	3	区域	4	区滅

問 4　まど(1)にすいてき(2)がついている。

(1) まど	1	突	2	窓	3	窯	4	憲
(2) すいてき	1	水滴	2	水摘	3	水適	4	水敵

問 5　多くの人がけいき(1)のかいふく(2)にかんしん(3)を寄せている。

(1) けいき	1	経気	2	景気	3	経機	4	景機
(2) かいふく	1	回復	2	快復	3	回複	4	快複
(3) かんしん	1	換心	2	感心	3	関心	4	歓心

問 6　けんさ(1)会社にせいひん(2)テストをいらい(3)する。

(1) けんさ	1	倹査	2	険査	3	検査	4	験査
(2) せいひん	1	壮品	2	制品	3	装品	4	製品
(3) いらい	1	以来	2	依来	3	以頼	4	依頼

問 7　新しいせいかつ(1)になれ(2)、こうどう(3)範囲もひろがった(4)。

(1) せいかつ	1	世活	2	世括	3	生活	4	生括
(2) なれ	1	情れ	2	慎れ	3	慣れ	4	憤れ
(3) こうどう	1	行動	2	交動	3	行働	4	交働
(4) ひろがった	1	広った	2	広がった	3	開った	4	開がった

問題 III　次の文の＿＿＿に入れるのに最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　ずっと前から好きだった人に、どきどきしながら＿＿＿みた。

1　話し合って　　2　話しかけて　　3　話しこんで　　4　話だして

(2)　そのドレスは、パーティーに行くには、ちょっと＿＿＿すぎるんじゃない？

1　高度　　2　地味　　3　率直　　4　妥当

(3)　このたび国へ帰ることになりました。長い間＿＿＿。

1　おかげさまで　　2　おじゃましました

3　おせわになりました　　4　おまちどおさま

(4)　そんな説明(せつめい)では、だれも＿＿＿できない。きちんとわけを言ってほしい。

1　記憶　　2　診断　　3　伝言　　4　納得

(5)　今月の＿＿＿はもういっぱいで、ほかの予定(よてい)は入れられない。

1　オフィス　　2　シーズン　　3　スケジュール　　4　ダイヤ

(6)　＿＿＿、このへんで、次(つぎ)のテーマに移(うつ)りたいと思います。

1　さて　　2　さらに　　3　すると　　4　ところが

(7)　もし失敗(しっぱい)しても、初(はじ)めてなんだから＿＿＿。

1　おもいがけない　　2　くだらない　　3　しかたがない　　4　とんでもない

(8)　そんな＿＿＿は、でたらめだ。信じないほうがいい。

1　うがい　　2　うまさ　　3　うらみ　　4　うわさ

(9)　こわい人かと思っていたら、＿＿＿いい人だった。

1　案外　　2　事実　　3　小々　　4　当然

(10)　税金(ぜいきん)を＿＿＿のは、国民(こくみん)の義務(ぎむ)である。

1　あずける　　2　おさめる　　3　かぞえる　　4　すませる

問題 Ⅳ　次の(1)から(5)は、言葉の意味を説明したものです。その説明にあう言葉を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　考えや案(あん)など。

1　アイデア　　2　イメージ　　3　スタイル　　4　ユーモア

(2)　ものの形(かたち)や色がはっきりしない様子。

1　さっぱり　　2　たっぷり　　3　のんびり　　4　ぼんやり

(3)　実際にやってみる。

1　だます　　2　だまる　　3　ためす　　4　ためる

(4)　ゆっくりうごく様子。

1　かたい　　2　きつい　　3　つらい　　4　のろい

(5)　うそを言わないで、いつも本当(ほんとう)のことを言う様子。

1　公式　　2　公正　　3　素直　　4　正直

問題 V　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　どうせ

1　どうせ健康でも、体に気をつけたほうがいい。

2　今から行ってもどうせ遅刻だから、行かないことにする。

3　結果がよくても悪くても、どうせテストが終わるとうれしい。

4　パーティーに来るかどうかわからないが、どうせ聞いてみよう。

(2)　大した

1　先日ここで大した事故が起きました。

2　この県の中央には大した湖があります。

3　大したけがじゃなくてよかったですね。

4　後ろから大した声で呼ばれて、びっくりしました。

(3)　あるいは

1　この寺は古い、あるいは、有名な寺です。

2　この書類をファイル、あるいは、どうしましょうか。

3　わたしは夏休みに温泉、あるいは、海水浴に行きました。

4　今日中にファックス、あるいは、メールで送ってください。

(4)　行方

1　台風は、行方を東に変えました。

2　図書館への行方をご存じですか。

3　現場から逃げた男の行方はまだわかっていない。

4　今度の旅行、行方をどこにしようか迷っています。

(5)　不安

1　あのころはやりたいことも仕事もみつからず、毎日が不安だった。

2　親を不安させないように、病気のことは言わないでおこう。

3　一人で会場まで行けるか不安の人は手をあげてください。

4　きのうは夫の帰りが遅くて不安した。

問題 VI　次の(1)から(5)の下線をつけた言葉の意味に最も近いものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　こんなみっともないすがたは、だれにも見られたくない。

1　もったいない　　2　はずかしい　　3　たまらない　　4　おとなしい

(2)　人生について、子どもと真剣に話をしていますか。

1　きびしく　　2　親しく　　3　本当に　　4　まじめに

(3)　この商品(しょうひん)のサンプルを見せてください。

1　価格　　2　材料　　3　資料　　4　見本

(4)　社会(しゃかい)に貢献できるような研究(けんきゅう)がしたい。

1　すぐ使える　　2　認められる　　3　役に立つ　　4　有名になる

(5)　画家(がか)は思い出のその地をたびたび訪(たず)ねている。

1　しばしば　　2　そろそろ　　3　たまたま　　4　つぎつぎ

astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００４－１２)

２　級

読解・文法

(200点　70分)

注　　意

1.　試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。

2.　この問題用紙を持ち帰ることはできません。

3.　受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。

4.　この問題用紙は、全部で17ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

文字・語彙の第44問は取消問題で、採点対象外です。　原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

この話をする前に、「時間というものは作ることができない」という、あたり前のことを言っておきたい。1日が24時間であることを変えることはできない。

睡眠時間を削ればいいと言う人もいるだろう。必要な睡眠時間は個人差があるうえに、無理をすると苦痛も大きい。楽しいことをするために睡眠時間を削るのはそれほど苦にならないものだけれども、勉強のために睡眠時間を削るなど、①なかなかできるものではない。

では、どうすれば時間ができるのか。おおむね(注1)二つの方法がある。

ひとつは、自分にとっての「ムダな時間を減らす」ことだ。大学に受かるための時間が必要ならば、それに関係のない時間を減らせばいい。これは必ずしも、食事や入浴の時間を削れというわけではない。②あたり前のように過ごしているムダな時間をなくせばいいのだ。（中略）

1日1時間はテレビを見てもいいというような、ある程度の娯楽は許されるだろう。でも、どれもこれも十分な時間をとるのは、とうてい(注2)無理な話だ。だから、どうしても自分にとって捨てられないことや捨てられない時間を二つか三つに絞り、それ以外は削らなければならない。

時間を増やす二つ目の方法は、③「時間の密度を上げる」ことである。時間の密度を上げるということは、1時間で5ページ勉強するのと10ページ勉強するのとでは、時間の密度が倍もちがうということだ。前にも言ったように、勉強をやっていないのに「できる」人は、時間的に多く勉強していないだけで、人の何倍ものスピードで十分な勉強量(注3)をこなしているはずだ。

ここで浮上(注4)してくるのが、④(注5)一見ムダに見える時間の効用(注6)である。1時間だけはテレビを見る、彼女と電話で話すなど何でもいいのだが「遊び」があることで残りの2、3時間の密度がアップする(注7)なら、それはムダな時間ではなく投資(注8)の時間ということになる。

(⑤)、時間をうまく使うには、自分であれこれと試しながら、こうしたほうが能率が上がる、これは時間のムダだ、ということを知っていく必要がある。自分で試しつつ、どうやったら時間の密度を上げられるか、何がムダで何がムダでないかを判断できるようになれば、時間を増やすことができるようになる。そして、一度こういう能力を身につけておけば、一生、時間をうまく使える人になれるのである。

（和田秀樹『まじめすぎる君たちへ』講談社による）

(注1)　おおむね：だいたい

(注2)　とうてい：とても

（注3） 勉強量をこなす：効果的にたくさん勉強する

（注4） 浮上する：うかぶ

（注5） 一見：ちょっと見ると

（注6） 効用：役に立つところ

（注7） アップする：あがる

（注8） 投資：将来の利益（りえき）のためにお金や時間を使うこと

問1 ①「なかなかできるものではない」とあるが、何ができないのか。

1 寝ないで楽しいことをすること

2 楽しいことをするための時間を作ること

3 寝るための時間を作って、勉強もすること

4 寝る時間を減らして、勉強の時間を作ること

問2 ②「あたり前のように過ごしているムダな時間」とあるが、ここでの「ムダな時間」とはどのような時間か。

1 睡眠時間（すいみんじかん）

2 食事や入浴の時間

3 目標（もくひょう）に関係のない時間

4 大学に入るために勉強する時間

問3 筆者は③「時間の密度を上げる」ことについて、どのように述べているか。

1 時間的に多く勉強する人の時間の密度（みつど）は低い。

2 短い時間で多くの量をこなす場合、その時間の密度（みつど）は高い。

3 何倍ものスピードで人と同じ量をこなす人の時間の密度（みつど）は低い。

4 長い時間をかけて、いつもと同じ勉強量をこなす場合、その時間の密度（みつど）は高い。

問4 ④「一見ムダに見える時間の効用」の説明として、合うものはどれか。

1 テレビを1時間見ることで、情報量が増えること

2 遊びや投資の情報を得ることで、能率が上がること

3 恋人と電話で話すことで、会う時間が節約できること

4 遊びをすることで、かえって勉強の集中力が高まること

問5　(⑤)に入る最も適当な言葉はどれか。

1　つまり　　2　それが　　3　または　　4　ところが

問6　筆者の主張(しゅちょう)と最も合うものはどれか。

1　時間の密度(みつど)を上げる努力をするよりも、ムダな時間を減らした方が能率が上がるはずだ。

2　「できる」人のように、短い時間でより多くの勉強量をこなすには、投資の時間を減らす必要がある。

3　時間をうまく使えるようになるには、ゆっくりとあせらず、自分のペースで好きなことからやることが重要だ。

4　時間をうまく使えるようになるには、自分でいろいろやってみて、その時間がムダかどうかを判断する能力を身につけなければならない。

問題 II　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)「お母さん、もう少し大人になりな(注1)、お父さんくらいに」

私の背中に6歳の息子が言った。自転車の後ろに乗せ、幼稚園(ようちえん)に向かう途中のことだった。ドキッとした。

確かに私は一日中、3人の子どもに片づけ(注2)をしなさいとか、宿題をやってしまいなさいとかうるさい。頭に来ると子どもと同等(注3)になってけんかをしている。それに比べ夫はその様子を少し離(はな)れて見ていてたまに口出し(注4)するくらいで大人なのだ。

それにしても幼稚園児(ようちえんじ)(注5)の言うことにしては立派過(りっぱす)ぎる。「大人って？」と聞いてみた。

すると、後ろから私の体に手を回して「ほら、お母さんこんなに小さいよ。もっと大人になってお父さんくらい大きくなって！」。なーんだ体の大きさのことだったんだ。

私は「大人だって小さい人はいるよ。ほら、おばあちゃんなんて大人なのにお母さんより小さいよ」と投げかけた。

「あのね、おばあちゃんはぼくが生まれる前、大人だったんだよ、でもね、今はおばあちゃんになって縮(ちぢ)んだの」。①うーんなるほど。

初めは「大人になりな」なんて言われて反省し、次はおばあちゃんを大切にしなければと考えさせられた。

幼稚園(ようちえん)に着いた。息子は手を振(ふ)り、門をくぐ(注6)って行く。②後ろ姿がいつもより大人(注7)びて見えた。

（上西紀子「ひととき」2001年11月3日付『朝日新聞』による）

(注1)　なりな：なりなさい

(注2)　片づけをする：片づける

(注3)　同等：同じ程度

(注4)　口出し：他の人の話に横から何か言うこと

(注5)　幼稚園児(じ)：幼稚園の児童

(注6)　くぐる：下を通って抜ける

(注7)　大人びて：大人のように

問 1　筆者は最初「大人になりな」という言葉をどのような意味だと思ったか。

1　子どもに対して立派（りっぱ）なことを言って、子どもに尊敬されるようにという意味。

2　子どものようにすぐ感情を表さないで、常に冷静でいるようにという意味。

3　子どもと同等の立場で、子どもの気持ちをよく理解するようにという意味。

4　自分の意見を持って、子どもの行動によく口出しするようにという意味。

問 2　この子どもは「大人」ということをどのようにとらえているか。

1　子どもを持っている人は大人で、子どもを持っていない人は大人ではない。

2　孫を持っている人は大人で、孫を持っていない人は大人ではない。

3　子どもは必ず大人になるが、中には体の小さい大人もいる。

4　体が大きい人は大人で、体が小さい人は大人ではない。

問 3　①「うーんなるほど」とあるが、このとき筆者はどんなことを考えたか。

1　年をとって小さくなったおばあちゃんを大事にしようと思った。

2　息子も大人の会話ができるようになったと思った。

3　自分ももっと大人になったほうがいいと思った。

4　自分より夫の方が大人だと思った。

問 4　②「後ろ姿がいつもより大人びて見えた」とあるが、なぜそう見えたのか。

1　子どもの言葉によって、いろいろ考えさせられたから

2　子どもが一人で手を振りながら歩いて行ったから

3　子どもなのに大人のような口の聞き方をしたから

4　子どもがおばあちゃんの心配をしているから

（2）自分の気持ちを言葉にして身近(注1)な人に話しかけるとき、抽象的な表現をしても、相手には何のことかピン(注2)と来ないことが多いはずです。①言いたいことは常に具体的に。これが大切です。

どうしても伝えたいことがある。しかし、わかりやすく表現できない。そんなときは、伝えたい内容を示す具体的な例はないかな、と考えてみるのです。

（中略）

あなたに誰かが話しかけてきたと考えてください。このとき、あなたが知っている人の名前や、行ったことがある土地の名前が出てくると、思わず話に引き込まれる(注3)ことがあるはずです。聞いたこともない国の地名が出てきて、その国が抱える問題点を聞かされても、「だから、どうしたの？」と②聞き返したくなるかもしれません。

③会話は、相手が参加してくれてこそ成立します。だったら、相手を話題に引き込む材料が必要です。それが、具体例なのです。あるいは、お互いがよく知っている固有名詞(注4)なのです。

（池上彰『相手に「伝わる」話し方』講談社による）

（注1） 身近な：自分に関係が深い

（注2） ピンと来ない：すぐには分からない

（注3） 話に引き込まれる：話に興味を感じて聞く

（注4） 固有名詞：人の名前や地名、会社名など

問1 ①「言いたいことは常に具体的に」の後に続くと予測されるものはどれか。

1 話さなくてもいい
2 表さなければならない
3 思い出すかもしれない
4 わかるようになるだろう

問2 ②「聞き返したくなる」のはなぜか。

1 自分の話す内容に相手は関心がないから
2 その国の話題について自分は興味があるから
3 その話は自分にはあまり関心がないことだから
4 相手が関心のない話題に自分も興味がないから

問3　③「会話は相手が参加してくれてこそ成立します」とはどういう意味か。

1　会話の相手が話したいと思わなければ、会話はできない。

2　相手が身近な人なら話題に引き込まれて会話ができる。

3　会話の相手によって話し方を変えていては、会話はできない。

4　会話の相手は具体例がなくても会話に参加することができる。

(3) 国民の多くが、自分たちのいいように税金(ぜいきん)を使ってほしいと考えている。道路を作ってもらいたいとか、学校をたくさん作ってほしいとか、反対に何も作らなくていいから、その分税金を安くしてほしいとか、いろいろな意見がある。

税金は国民が払ったものである。しかし、税金が自分たちの都合がいいように使われないと言って、政府を批判するのはどうかと思われる。①

税金の使い道(注)は、必ずしも国民の思いどおりにはならない。ある国民にとって都合のよい使い道であっても、国全体から見るとそうでない場合があるからである。たとえば、税金を使って、ある県に高速道路(こうそくどうろ)を作ったと考えてみよう。その県の人々にとっては、高速道路が作られれば生活が便利になる。観光客も増える。(②)、同じだけの税金を払っている他の遠くの県の人にとっては、その高速道路を使う機会は全くないだろう。

このように、税金を全体にバランスよく使うことは難しい。したがって、国民は自分たちの直接の利益(りえき)にならないといって、単純に政府を批判(ひはん)するべきではない。一方で、政府もできるだけ不公平が生じないように、十分気をつけて税金を使ってもらいたいものである。

(注)　使い道：お金などを使う方法、目的

問1　①「政府を批判するのはどうかと思われる」とあるが、筆者の考えに最も近いものはどれか。

1　政府の決定に賛成だ。
2　政府の決定に反対だ。
3　政府批判(ひはん)に疑問がある。
4　政府批判(ひはん)と同様の意見だ。

問2　(②)に入る最も適当な言葉はどれか。

1　しかし　　2　それで　　3　したがって　　4　そのうえ

問3　本文の要約として最も適当なものはどれか。

1　税金が自分たちにとって都合よく使われるように、国民は政府を批判していくべきである。

2　政府はいつも国民に平等に利益があるように税金を使っているので、批判されるべきではない。

3　税金の使い道を決める時、政府は全体のバランスを重視しているので、不公平感が生じることは少ない。

4　税金は全ての国民にとって直接利益になるわけではないが、政府はそれを平等に使うよう努力をするべきである。

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) ふるさとや家族について、はじめて意識的に考えたのは18歳のときだった。つまり、家族と離(はな)れて、東京で一人暮らしをはじめたときである。

かなり重症(じゅうしょう)(注1)のホームシック(注2)で、休みになるとすぐに帰省(注3)した。で、帰って何をするかというと、特別なことは何もない。

ふるさとは、帰ってみると、実になんでもないところである。そして、そのなんでもなさが、ふるさとの魅力(みりょく)なのだ、と思う。

あたりまえのことの大切さやありがたさに気づくためには、すこし離(はな)れて見るのがいい。ふるさとを離れると、ふるさとのよさが見えてくる。

（俵万智『101個(こ)目のレモン』文藝春秋(ぶんげいしゅんじゅう)による）

(注1)　重症(じゅうしょう)：病気が重いこと

(注2)　ホームシック：ふるさとを離れている者がふるさとを恋しく思う様子

(注3)　帰省：ふるさとに帰ること

【問い】　本文の要約として最も適当なものはどれか。

1　ふるさとから離れていると、都会にあるものがふるさとにはないことに気づくことがある。

2　ふるさとは都会から遠く離れていて、何もないように見えるが、よく探してみると、都会と同じような魅力(みりょく)がある。

3　ふるさとのように、あるのが当然だと思っているものの価値(かち)は、そこから少し距離(きょり)を置くことでわかるようになる。

4　ふるさとで家族と暮らしていると、そのありがたさが意識できるので、なんでもない日常の生活の大切さがわかるようになる。

（2）建物や部屋、家具などには直線が多く使われています。作りやすくむだが少ないことが、その理由です。しかし、直線には冷たい感じをあたえるという欠点もあります。

一方、曲線は、暖かい感じややわらかい感じをあたえるので、最近では、技術の進歩もあって、曲線を用いることも多くなってきました。

家でも、大きなまるいテーブルをひとつおくと、すわることのできる人の数もあまり制限をうけず、心理的にもやさしい感じをあたえます。

（家田重晴『すぐに役だつ保健シリーズ⑨健康をささえる環境』ポプラ社による）

【問い】　最近の建物や家具の作り方の傾向として、この文章の内容と合っているものはどれか。

1　作りやすさを考えて直線を使うことが多くなった。

2　暖かい感じがする大きいものを作るようになった。

3　やさしい感じをあたえる曲線を使うことが多くなった。

4　技術の進歩により直線と曲線を混ぜて作るようになった。

（3）演劇でも書物でも、文化や芸術には、知らない世界に自分の身を置き換え、身近(注1)なものにするという力がある。それは「人の身になって考えてみる」という想像力(そうぞうりょく)が培(つちか)(注2)われることでもあると思う。

この想像力により、様々な差異(さい)(注3)を超え、世界の人々が同じ「人間」として、幸せに生きてほしいという願いが自然にわいてくる。実はこういう文化の力こそが平和につながる大きな力なのかもしれない。

（東美恵子「壁(かべ)超える想像力」2002年11月3日付　読売新聞による）

（注1） 身近な：自分に関係が深い

（注2） 培う：育てる

（注3） 差異(さい)：違い

【問い】　「こういう文化の力」というのは、どのような力か。

1　世界の人々が平和に生きてほしいと願う力

2　いろいろな文化の違いを比較し、理解する力

3　外国の文化や芸術を見て、わからないところを考える力

4　演劇や書物を通して、自分とは異なる世界を想像する力

（4）私は、思いきった差別教育をしようと考えている。勉強する子はほめてあげよう。怠(なま)ける子は叱(しか)ろう。よい事をしたらほめよう。悪い事をしたら叱(しか)ろう。できれば、一人一人の子を、よく観察して、なるべくたくさん良い所をみつけ出してほめてあげよう。ほめるときは、なるべくたくさんの人の前で、はっきりほめて、多くの人にも祝福(注)してもらおう。叱(しか)る場合は人の知らないところで、静かに叱られる理由がよくわかって反省してもらえるように叱ろう。

（中島司有『書のこころ』講談社による）

（注）　祝福する：幸せを祈ったり、祝ったりすること

【問い】　筆者の言う「差別教育」とは何か。

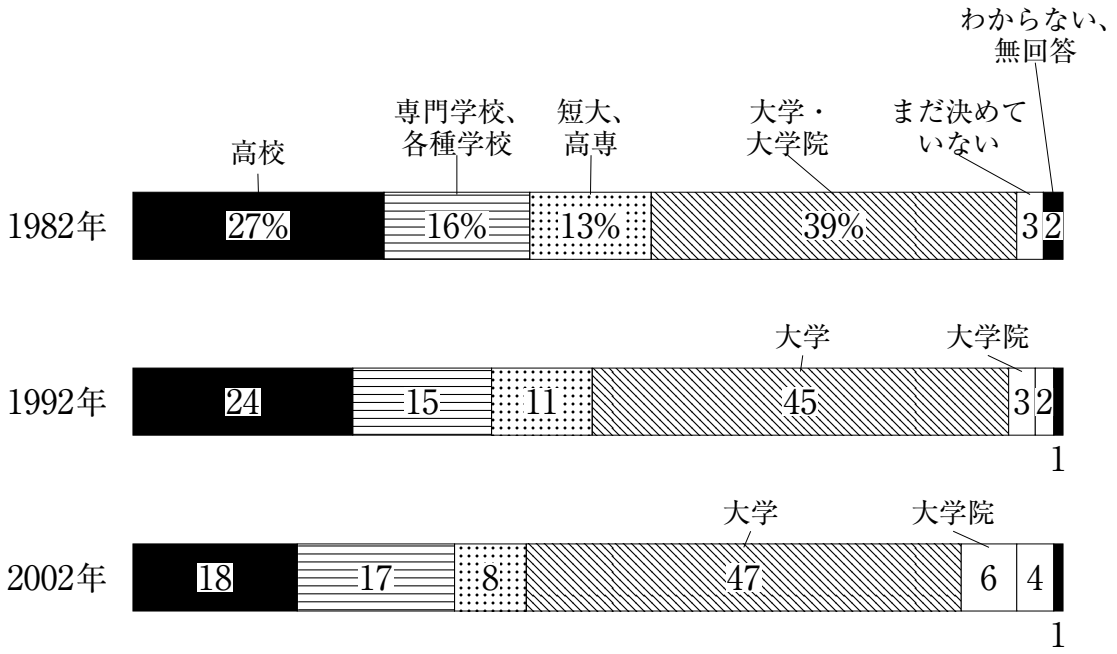
1　怠ける子や悪いことをした子はみんなの前ではっきり叱(しか)り、勉強する子やいいことをした子は静かにほめること

2　勉強する子やいいことをした子はみんなの前でほめ、怠ける子や悪いことをした子は理由がわかるように叱(しか)ること

3　勉強する子やいいことをした子と怠ける子や悪いことをした子とは違うグループにして、たくさんの人に知らせること

4　勉強する子やいいことをした子と怠ける子や悪いことをした子とを混ぜてグループを作り、できるだけ悪いことをしないように指導すること

（5）下のグラフは、「進学の最終目標をどこまでと考えているか」という質問に対する日本の高校生の答えを、1982年から2002年まで10年ごとにまとめたものである。なお、1982年の調査では大学と大学院を分けなかったが、1992年と2002年の調査では分けて聞いた。



（NHK放送文化研究所編『放送研究と調査』2002年12月号　日本放送出版協会による）

【問い】　グラフの説明として最も適当なものはどれか。

1　20年間の変化をみると、「高校」と「短大、高専」が大きく減少している。一方、「大学」という答えは増加傾向にあるが、「大学院」については、ほとんど変化が見られない。

2　20年間の変化をみると、「高校」と「短大、高専」が大きく減少している。一方、「大学・大学院」という答えは増加傾向にあり、特に、「大学院」は1992年から2002年にかけての伸びが目立っている。

3　20年間の変化をみると、「高校」と「短大、高専」が約2分の1に減少している。一方、「大学」という答えはあまり増えていないが、「大学院」については1992年から2002年にかけての伸びが目立っている。

4　20年間の変化をみると、「高校」と「短大、高専」が約2分の1に減少している。一方、「大学・大学院」という答えは1982年から1992年まではあまり増えていないが、1992年から2002年にかけては大きく増えている。

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　戦争に＿＿＿、批判の声が次第に高まっている。

1　沿って　　2　対して　　3　かけては　　4　こたえて

(2)　関係者のみなさまのご協力に＿＿＿、無事この会を終了することができました。

1　むけ　　2　つけ　　3　とって　　4　よって

(3)　思いつく＿＿＿のアイデアはすべて出したが、社長は認めてくれなかった。

1　から　　2　うえ　　3　かぎり　　4　たび

(4)　外国人社員の労働条件(ろうどうじょうけん)を＿＿＿、会社側と労働者側が対立している。

1　まわって　　2　わたって　　3　めぐって　　4　かねて

(5)　これから旅行に＿＿＿、海がいい。

1　行くに際し　　2　行ったとおり　　3　行ったばかりか　　4　行くのなら

(6)　本日は雨の中、遠くまで＿＿＿、ありがとうございました。

1　おいでくださって　　2　参ってさしあげて

3　来てさしあげて　　4　来られてくださって

(7)　母の誕生日に、心＿＿＿セーターを編んだ。

1　を通じて　　2　を込めて　　3　にかぎって　　4　において

(8)　ノートを貸してもらった＿＿＿、昼ごはんをごちそうしよう。

1　きり　　2　あげく　　3　かわりに　　4　ところに

(9)　あの映画は一度見た＿＿＿、話の筋がまったくわからなかった。

1　ものなので　　2　ものの　　3　ものなら　　4　ものから

(10)　親は子供が病気に＿＿＿ように、健康(けんこう)に気をつけている。

1　ならなかった　　2　なれない　　3　なった　　4　ならない

(11)　最近、自分＿＿＿いいという考えの人が増えている。

1　こそよければ　　2　さえよければ　　3　さえよくなければ 4　こそよくなければ

(12)　ドアのところに私のかさを＿＿＿いいですか。

1　置かせてくださっても　　2　お置きくださっても

3　置かせていただいても　　4　お置きになっても

(13)　このところ忙しくて少し疲れ＿＿＿から、今日は早く帰ることにした。

1　ぎみだ　　2　かねる　　3　っぽい　　4　うる

(14)　この本は＿＿＿おもしろくなる。

1　読めば読むほど　　2　読むにあたって

3　読むにもかかわらず　　4　読んだ以上

(15)　彼とは10年前のクラス会で＿＿＿以来、一度も連絡を取っていない。

1　会った　　2　会って　　3　会い　　4　会う

(16)　この店の料理は、味＿＿＿量は多い。

1　のくせに　　2　につけても　　3　に先立ち　　4　はともかく

(17)　担当者＿＿＿、会社全体で不正な売買を行っていた。

1　のみならず　　2　のみにて　　3　までもでなく　　4　までも

(18)　今回改善された育児休暇制度(きゅうかせいど)が＿＿＿、今後子供を持つ女性が働きやすくなるだろう。

1　広まらなければ　　2　広まるようでは

3　広まれば　　4　広まるからといって

(19)　調査の結果、若者の言葉づかいにきびしい＿＿＿、40代、50代の人の多くが言葉の正確な意味を理解していないことがわかった。

1　からには　　2　あまり　　3　だけあって　　4　わりには

(20)　私は先生の奥様に、パーティーで一度＿＿＿ことがあります。

1　お目にかかった　2　目にされた　　3　ご覧になった　　4　ご覧くださった

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　人口の増加とともに、この辺りの住宅事情は悪く＿＿＿。

1　なる通りだ　　2　なりぬいた　　3　なりつつある　　4　なる次第だ

(2)　彼の話は非常に感動的で、聞いている人すべてが涙を浮かべた＿＿＿。

1　すえだった　　2　ほどだった　　3　ばかりだった　　4　ほうだった

(3)　最近の子どもはテレビゲームばかりしているようだが、必ずしも外で遊ばない＿＿＿。

1　わけになる　　2　わけだろう　　3　わけではない　　4　わけであった

(4)　自分の目で確かめない限り、そんな恐ろしいことはだれも＿＿＿。

1　信じまい　　2　信じかねない　　3　信じよう　　4　信じきれる

(5)　三週間も水をやらなかったのだから、花が枯れて＿＿＿。

1　しまいっこない　　2　しまうのも当然だ
3　しまいようもない　　4　しまうのは無理だ

(6)　大学院は自分で研究を進めるところだから、先生に頼ろうとする＿＿＿。

1　はずではない　　2　ことではない　　3　べきではない　　4　までではない

(7)　希望する会社に就職（しゅうしょく）できなかったくらいで、そんなにがっかりする＿＿＿。

1　よりほかない　　2　ことといえる　　3　とされている　　4　ものではない

(8)　この人形はとてもよく作られていて、＿＿＿。

1　生きているかのようだ　　2　生きていそうもない
3　生きざるをえない　　4　生きるものか

(9)　世界中を旅行して回れるなんて、うらやましくて＿＿＿。

1　はかなわない　　2　ならない　　3　かまわない　　4　はならない

(10)　今回の事件で明らかになったことは、実際に起こったことの一部＿＿＿。

1　によらない　　2　にのぼる　　3　にかぎる　　4　にすぎない

問題 VI　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　仕事が予定より遅れている。だから、今度の日曜日は、仕事を＿＿＿。

1　休むことになっている　　2　休むにきまっている

3　休まねばならない　　4　休んではいられない

(2)　毎日遅くまで、必死に頑張る＿＿＿。そんなことをして、体をこわしては意味がない。

1　べきだ　　2　つもりだ　　3　ことはない　　4　にちがいない

(3)　この本にのっているレストランはとてもおいしそうだ。みんなで＿＿＿。

1　行ってみようじゃないか　　2　行くわけがない

3　行っているどころではない　　4　行くほどではない

(4)　となりの子どもはうちへ帰るとすぐ宿題を終わらせ、部屋を片付ける。となりのうちでは、そう＿＿＿、遊びに行かせてもらえないのだ。

1　なると　　2　してはじめて

3　だとすれば　　4　してからでないと

(5)　現代の医学は進歩している。それに＿＿＿、平均寿命(じゅみょう)が延(の)びている。

1　ともなって　　2　反して　　3　わたって　　4　比べて

(6)　ごみ処理の問題については林先生が一番くわしい。専門的なことについては、林先生をぬきにして議論＿＿＿。

1　しなければならない　　2　しても仕方がない

3　した方がいい　　4　してもいい